



進 取

令和5年度第12号

令和6年3月21日(木)
霧島市立陵南小学校

1年間を振り返って

校長 深川 光久

令和5年度もあとわずかとなりました。一人一人の子どもたちが楽しく学校に通えるようにするとともに、一人一人が成長できる学校にしたいと思ってまいりました。しかし、成長過程にある子どもたちですから、様々なトラブルや気持ちの行き違いなどあり、ご心配をおかけしたこともあったと思います。そんな中でも様々な御理解と御協力をいただき有り難うございました。なんとかこの1年間を終えることができるのも保護者の皆様のおかげです。

さて、簡単に本年度を振り返り、次年度に向けて少しお話しできればと思います。本年度は、新型コロナウイルス感染症も5類となり、日常生活が戻ってまいりました。運動会なども1日することができるようになり、子どもたちは様々な経験ができるようになってきました。しかし、年間を通して新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが感染する状況でしたから、いつ流行するか分からないので、予防は継続するようにしました。

学習面においては、タブレットやプロジェクターなどの活用が進んできました。しかし、1月にあった本年度の鹿児島学習定着度調査（5年生実施）では、県平均に達することができませんでした。5年生に限らず、各種学力検査を活用して、全学年で本年度の復習を進めているところです。

体力面について、本年度は、なわとび運動に全校で取り組んできました。2学期まではなかなか時間が取れずにいましたが、3学期に入って朝の仲良し体育に向けてよくがんばる姿が見られました。

全体を通じては、今何をすべきか、したらいけないのかという雰囲気を理解することが難しかったり、友達とうまくコミュニケーションを取れないことで相手を嫌な気持ちにさせてトラブルになったり、学習への意欲がなかなか継続できなかつたりなどの様々な困り感をもっている子どもたちがいることが分かりました。来年度に向けては特別支援教育をさらに充実させ、その一人一人によりより支援ができるようにしようと考え、動き出しているところです。子供への支援を充実させていくためには、保護者の皆様のご理解とご協力が必要になってくる場面もあると思いますのでよろしくお願いいたします。

赴任して以来、校内環境の安全性を高めることに努めてまいりました。2階、3階の転落防止対応や校舎外の古い花台の撤去、廊下にある転倒が心配される物の移動などをしてきました。現在、まだ準備中のものもあります。能登半島地震後も大事な避難経路を確保できるか確認いたしました。保護者の皆様も気付かれた点がありました遠慮なく教えていただければ有り難いです。

自ら学ぶ子どもを育てたい。

子どもたちに難しい学習や根気を必要とする反復練習などを含め、自ら学ぼうとする力を付けることはなかなか難しいところがあります。しかし、AIなどがどんどん導入されるこれからの時代は、自ら考え問題を解決しようとする力が要求されます。そのため、子どもたちが自分で学ぼうとし、自分の学び方を振り返って、学び方を修正していくことができる子どもを育てていくことが重要であると言われていています。そこで、先日のPTAでお知らせしたとおり、春休みの学習を親子で計画を立て、国語や算数に限らず興味のあることを自分で学ぶようにいたします。お手数をおかけしますが、無理ない計画で、できた達成感をもたせたいものです。